

第1日 (9月20日) 口頭発表 午前

【A会場】

[大気エアロゾルと前駆体の地球化学]

(9:30~10:50) 座長: 河村公隆

- 1A01 航空機観測による中国および東シナ海上のエアロゾル化学成分観測
(1国立環境研究所・2中国環境科学研究院)○畠山史郎1・高見昭憲1・ワンウエイ2・湯大綱2
- 1A02 航空機観測による中国上空エアロゾルの化学組成 (1) 2002/2003年冬季の沿岸域における水溶性有機物と無機成分
(1北海道大学低温科学研究所・2国立環境研究所・3中国環境科学研究院)○河村公隆1・平賀育代1・渡辺智美1・持田陸宏1・高見昭憲2・畠山史郎2・ワンウエイ3
- 1A03 黄砂時期のエアロゾルに含まれる長鎖脂肪酸の放射性炭素分布
(1海洋研究開発機構・2北海道大学低温科学研究所・3国立環境研究所)○松本公平1・内田昌男1・河村公隆2・柴田康行3・森田昌敏3
- 1A04 14Cを用いた大気中元素状炭素粒子の発生源の評価
(1静岡大学・2東京大学原子力研究総合センター)○鈴木 款1・中島賢邦1・和田秀樹1・松崎浩之2

休憩15分

(11:05~12:25) 座長: 鈴木 款

- 1A05 札幌における大気エアロゾル中の主要化学成分の変動傾向
(1北海道東海大学 工学部・2東京大学 海洋研究所・3北海道大学大学院 地球環境科学研究科)○南秀樹1・植松光夫2・桑山豊3・入野智久3・南川雅男3
- 1A06 エアロゾルにおける塩素損失反応と硝酸塩の関係
(1東京大学海洋研究所・2科学技術振興機構)○成田祥12・植松光夫12
- 1A07 西部北太平洋における大気エアロゾル中の有機態窒素
(1東京大学海洋研究所・2神奈川大学工学部)○中村篤博1・松本潔2・早乙女伸枝1・小川浩史1・植松光夫1
- 1A08 北西太平洋日本沖における高等植物起源テルペノイドの大気輸送
(北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻)○沢田健

【B会場】

[陸水]

(9:30~10:30) 座長: 國丸貴紀

- 1B01 Dynamics and chemical nature of fluorescent dissolved organic matter in river waters in Hiroshima Prefecture Japan
(広島大学)○Mostofa Khan M. G.・本田由佳・佐久川弘
- 1B02 淡水中の溶存高分子量有機物のTFF限外ろ過による分離とキャラクターゼーション
(信州大学理学部)○福島和夫・愿山靖子・幸田英顕
- 1B03 六甲花崗岩地域における河川水の主成分および希土類元素の組成について
(神戸大学)○渡邊大介・大谷恵子・寺門靖高
- 1B04 河川上流域におけるイオン組成と岩石風化
(信州大学理学部物質循環学科)○児玉竜・福島和夫

(10:30~11:45) 座長: 佐竹 洋

- 1B05 バングラデシュ、シヨナルガオン地域におけるヒ素汚染地下水-化学・同位体組成とその季節変化-
(1岡山大学固体地球研究センター・2大阪市立大学理学研究科・3岡山大学自然科学研究科)○板井啓明1・益田晴恵2・三田村宗樹2・日下部実1・千葉仁3

休憩15分

- 1B06 瑞浪超深地層研究所周辺における地下水の物理化学特性について
(核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター)○井岡聖一郎・岩月輝希・古江良治・彌榮英樹・水野崇
- 1B07 シリア古代パルミラ人と高フッ素症
(1九大院理・2九大院比較社会文化・3樞原考古学研)○吉村和久1・山本綾子1・中橋孝博2・西藤清秀3
- 1B08 庄川扇状地の地下水・河川水の窒素同位体比
(富山大学理学部)○佐竹洋・持田陸宏・中村高志・佐藤康

(11:45~12:30) 座長: 福島和夫

- 1B09 地震前後における地下水の流動系
(1金沢大学自然計測応用研究センター・2神戸大学理学部・3島根県産業技術センター・4環境科学技術研究所)○井上睦夫1・中村昇2・小林俊則2・大谷恵子2・杉本幸司2・高久雄一4・中島剛3・小村和久1
- 1B10 幌延深地層研究計画における地下水の地球化学特性
(核燃料サイクル開発機構)○國丸貴紀・濱克宏
- 1B11 バクテリア表面への希土類元素の分配パターンとそれに基づく天然バイオマツト中の希土類元素パターンの解釈
(1広島大学大学院理学研究科・2静岡大学理学部・3オタワ大学地球科学科)○高橋嘉夫1・平田多恵子1・加藤憲二2・フォーティンダニエル3

第1日 (9月20日) 口頭発表 午前

【C会場】

[堆積物]

(9:30~10:45)座長:相沢省一

1C01 高圧下におけるホウ素同位体分別効果の測定実験

(1東京大学・院総合文化・広域科学・2上智大学・理工・化学・3東京工業大学・原子炉)○武蔵正明1・松尾基之1・大井隆夫2・野村雅夫3

1C02 ホウ素鉱物合成実験を基にしたホウ素同位体交換反応の平衡定数の解析

(上智大学理工学部)○山比羅守・木川田喜一・大井隆夫

1C03 P-T境界チャート、黒色頁岩のOs同位体:P-T境界でのイベントに関する示唆

(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2広島大学・大学院理学研究科・3西日本技術開発・地盤耐震部)○鈴木勝彦1・鄭国東2・西園幸久3・清水洋23

1C04 イラン古生代及び中生代炭酸塩岩のカドミウム含量の変動

(群馬大学工学部)○相沢省一

1C05 陸域縞状炭酸塩堆積物から年縞をよむ

(九州大学)○栗崎弘輔・吉村和久・杉原真司

休憩15分

(11:00~11:45)座長:武蔵正明

1C06 過去4万年における琵琶湖コア中の重鉱物の運搬堆積に關する地球化学的記録と気候変動との関連

(北海道大学大学院地球環境科学研究科)篠塚良嗣・○豊田和弘

1C07 深海底堆積物の窒素同位体比と石灰質ナノプランクトン生産量の関係 -湧昇流海域と非湧昇流海域の比較-

(秋田大学・工学資源学部)○長谷川英尚・高橋大・北逸郎・佐藤時幸

1C08 (講演中止)

[生物]

(11:45~12:15)座長:赤木 右

1C09 宮城県・鳴子温泉バクテリアマットの脂肪酸の安定炭素・水素同位体分布

(1岡山大学 自然科学研究科・2東北大学 理学部)○上原倫子1・奈良岡浩1・掛川武2

1C10 純粋培養と共生培養におけるメタン生成菌の水素同位体分別について

(産業技術総合研究所)○吉岡秀佳・坂田将・鎌形洋一

【D会場】

[岩石/地殻, 鉱床]

(9:30~10:15)座長:谷水雅治

1D01 走査近接場光学顕微鏡(SNOM)の製作と地球化学への応用の可能性

(1東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設・2株式会社ユニソク・3株式会社島津製作所・4株式会社イオン工学研究所)○鍵裕之1・福良哲史1・中川達央2・粉川良平3・浅利正敏4

1D02 走査近接場光学顕微鏡(SNOM)を用いた鉱物粒界の歪み測定を試み

(1東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設・2株式会社ユニソク)○福良哲史1・鍵裕之1・中川達央2

1D03 炭酸カルシウムに取り込まれたYbの存在状態

(1東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設・2産業技術総合研究所)○吉田哲章1・鍵裕之1・津野宏2・太田充恒2

(10:15~11:15)座長:鍵 裕之

1D04 ICP-MSと多重 γ 線測定INAAを用いたコマチアイト中の白金族元素の定量

(1東京都立大学・2日本原子力研究所)○桑山仁1・白井直樹1・大浦泰嗣1・天川裕史1・海老原充1・藤嶋輔2・初川雄一2・大島真澄2

1D05 誘導結合プラズマ質量分析法を用いた火成岩キャラクタリゼーションのためのPb同位体比迅速精密分析法の確立

(1海洋研究開発機構 IFREE・2高知大学 海洋コア総合研究センター・3静岡大学理学部)○谷水雅治1・石川剛志23

休憩15分

1D06 タングステン同位体トレーサーによるコア-マントル相互作用の検証

(東京大学地震研究所)SAHOO YuVin・○中井俊一・ALI Arshad

(11:15~12:00)座長:鈴木勝彦

1D07 塩素の同位体宇宙地球化学 (4) 標準岩石の塩素同位体比(続報)

(1独立行政法人海技中学校・2神戸大学大学院自然科学研究科・3神戸大学理学部)○藤谷達也12・中村昇3・林恭子3

1D08 Ce-Nd-Sr同位体を用いた日本背弧領域におけるマンツルの化学進化

(1名古屋大学環境学研究科地球環境科学専攻・2Department of Science Education Ewha Womans University)○林隆正1・田中剛1・KimKyu Han2

1D09 ジルコンの局所分析に基づくガボン共和国フランスビル盆地の年代学的考察

(1広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻・2宇宙・地球化学的進化に関する同位体プロジェクトセンター・3Ecole et Observatoire des Sciences de la Terre UMR7517-CNRS-ULP)○堀江憲路1・日高洋12・Gauthier-Lafaye Francois3

第1日 (9月20日) 口頭発表 午後

【A会場】

[アユルニウム地球化学]

(14:00~15:40)座長: 塚本尚義

1A09 環境トレーサビリティ学のススメ

(総合地球環境学研究所)○中野孝教

1A10 鉱物からの元素の溶脱における結晶構造規制

(名古屋大学大学院環境学研究科)浅原真理・柴田信之助・○田中剛

1A11 環境科学におけるアユルニウム分析

((財)環境科学技術研究所)○高久雄一

1A12 高エネルギーイオン線による花崗岩起源流体の組成変化と挙動の追跡

(1筑波大学大学院生命環境科学研究科・2日本 IBM・3筑波大学加速器センター・4九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門)○黒澤正紀1・島野貞純2・石井聰3・島邦博3・加藤工4

1A13 単斜輝石とケイ酸塩メルト間の希土類元素分配係数についての新解釈

(名古屋大学大学院環境学研究科地球惑星科学教室)○川邊岩夫

休憩15分

(15:55~17:15)座長: 平田岳史

1A14 遷移金属安定同位体の宇宙生物地球化学: その大いなる可能性

(海洋研究開発機構 固体地球統合フロンティア研究システム)○山口耕生

1A15 重元素を用いた安定同位体地球化学

(東京工業大学理工学研究科地球惑星科学専攻)○大野剛・平田岳史

1A16 鉛の同位体を使った惑星物質の年代測定

(神戸大学)○山下勝行

1A17 同位体組織学

(東京工業大学理学部)○塚本尚義

【B会場】

[有機物]

(14:00~17:15)座長: 長谷川卓

1B12 カムチャツカ半島・ウシュコフスキーアイスコア中のレボグルコサンとリグニン分解生成物

(北海道大学)○伊澤祐輔・河村公隆・持田陸宏・白岩孝行

1B13 古カトマンズ湖堆積物から抽出された多環式芳香族炭化水素類(PAHs)を用いた乾湿変動の復元-最終水期極大期前後のPAHsの濃度変化-

(1九州大学大学院比較社会文化学府・2海洋研究開発機構)○萬福真美1・山中寿朗1・酒井治孝1・内田昌男2

1B14 モンゴル・フスグル湖の湖底堆積物に含まれるFree、Ester、及びBoundの脂質化合物に関する有機地球化学的研究

(1東海大学大学院・2名古屋大学大学院環境学研究科)○長友洋子1・下川原誠1・西村弥亜2・河合崇欣

1B15 バイカル集水域のフスグル湖における湖底堆積物中の有機成分による最終水期以降の環境変動

(1大妻女子大学社会情報学部・2東京理科大学理学部・3弘前大学理工学部・4東邦大学・5名古屋大学)○井上源喜1・加納涼子1・佐藤知香1・松山由香2・竹村哲雄2・堀内一穂3・高松信樹4・河合崇欣5

(15:00~16:15)座長: 力石嘉人

1B16 三陸沖における過去3万年間の古環境復元

(1産業技術総合研究所・2東北大学・3北海道大学)○袁島佳代1・川幡穂高12・入野智久3

1B17 ODP Leg 190 四国沖南海トラフ堆積物に含まれるホパノイドの炭素同位体組成

(北海道大学大学院理学研究科)○齋藤裕之・鈴木徳行・沢田健

休憩15分

1B18 顕微ATR/FT-IRによる堆積有機物の直接解析

(九州大学理学研究院)○望月誠・村江達士

1B19 Influence of underlain rock on the characteristics of organic matter and metal release in the forest soil in Okinawa Island Japan

(琉球大学 理学部)○Bakari Said1・Vuai Ali・渡久山章

(16:15~17:15)座長: 井上源喜

1B20 堆積環境が異なる海洋、湖沼堆積物における5β-stanolの存在分布と、その供給源の可能性について

(東海大学大学院)○松田孝信・西村弥亜

1B21 榛名湖環境におけるphytol・sterol類の炭素・水素同位体比分布

(1海洋研究開発機構・2岡山大学)○力石嘉人1・奈良岡浩2

1B22 メタン酸化起源炭酸塩岩に吸着された炭化水素ガスの炭素同位体比異常

(1北海道大学大学院理学研究科・2東京大学海洋研究所・3中川町自然史博物館)○井尻 暁1・角皆潤1・蒲生俊敬2・疋田吉識3

1B23 長鎖ノルマルアルカンの炭素同位体比が示す暁新世/始新世境界の温暖化イベント(PETM)に伴う陸上植生攪乱の証拠

(1金沢大学大学院自然科学研究科・2Indiana University)○長谷川卓1・山本真也1・森尚仁1・Pratt Lisa M.2

(18:00~)

夜間小集会

「日本地球化学会の今後の50年に向けて」

第1日 (9月20日) 口頭発表 午後

【C会場】

[生物]座長:奈良岡 浩

(14:00~14:30)

- 1C11 植物と土壌化進行との関係一希土類元素による評価一
(東京農工大学大学院共生科学技術研究部)○渡部慎一・赤木右
- 1C12 ネオジウム同位体比を指標にした植物による風化機構
(1東京農工大学大学院共生科学技術研究部・2原子力研究所環境科学研究部)○赤木右1・三浦智洋12・付鳳富2・渡部和男2

[大気降水]

(14:30~15:30)座長:杉本敦子

- 1C13 横浜で観測された酸性雨-pH4未満の割合と酸起因物質一
(横浜国立大学)○村山治太
- 1C14 1999から2003年降水(雨水)中の化学成分の変動(千葉県船橋市)
(東邦大学理学部化学科)○岡村忍・吉池雄蔵
- 1C15 富山の降水におけるNa/Cl比と塩素同位体比の関係
(1富山大学理工学研究科・2富山大学理学部)○呉佳紅1・佐竹洋2
- 1C16 中部山岳地積雪の同位体比と化学組成の広域分布 - 2003-2004年冬季
(1富山大学理工学研究科・2富山大学理学部・3富山大学極東地域研究センター)○遠山和大1・松田隆弘2・松本絵葉2・佐竹洋2・川田邦夫3

休憩15分

(15:45~16:15)座長:村山治太

- 1C17 東シベリアタイガ林の植物活性の年々変動
(1北海道大学大学院地球環境科学研究科・2京都大学生態学研究センター・3寒冷圏生物学研究所)○杉本敦子1・内藤太輔2・マキシモフトロフィーム3
- 1C18 最近のつくばの降下物中のプルトニウムについて
(気象研究所 地球化学研究部)○廣瀬勝己・五十嵐康人・青山道夫

【D会場】

[海洋]

(14:00~14:45)座長:原田尚美

- 1D10 カルサイトと水溶液間でのSrとBaの分配における実験的研究
(神戸大学)○谷口麻美・寺門靖高
- 1D11 恒温飼育実験によるサンゴ骨格の酸素同位体比解析
(1産業技術総合研究所・2東北大学大学院理学研究科・3関西総合環境センター・4琉球大学大学院理工学研究科)○鈴木淳1・川幡穂高12・日比野公平3・岩瀬晃啓4
- 1D12 海生二枚貝と海水における微量元素の分配
(神戸大学)○坂元有希・寺門靖高
- (14:45~15:30)座長:鈴木 淳
- 1D13 沖縄の海水中における鉄の挙動の探求
(1琉球大学大学院理工学研究科・2琉球大学理学部海洋自然科学科)○岡田孝一郎1・伊古田博嗣2・藤村弘行2・新垣雄光2
- 1D14 赤外吸収と半透膜を組み合わせた新しい現場型溶存メタン計の開発
(1北海道大学大学院理学研究科・2紀本電子工業株式会社)○角皆潤1・高翔2・紀本英志2・紀本岳志2

- 1D15 北太平洋中央モード水形成時のクロロフルオロカーボン取り込み効率
(気象研究所)○時枝隆之・石井雅男

休憩15分

(15:45~17:00)座長:時枝隆之

- 1D16 足摺海丘および種子島沖泥火山域における間隙水の酸素・水素同位体比およびメタン炭素安定同位体比
(1東大海洋研・2北大院理・3(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構)○中山典子1・芦寿一郎1・角皆潤2・蒲生俊敬1・棚橋道郎3
- 1D17 北太平洋およびスルー海周辺海域堆積物中におけるFe,Mn,Seの挙動
(1近畿大学大学院・2近畿大学理工学部)○北畑謙一1・服部裕史1・高田正貴1・中口譲2
- 1D18 日本周辺の縁辺海における海底堆積物中のプルトニウムの分布:ピキニ核実験由来のプルトニウムの輸送仮説
(放射線医学総合研究所)○鄭建・山田正俊
- 1D19 過去12万年にわたるオホーツク海南西部における表層水温、塩分の変化
(1独立行政法人海洋研究開発機構・2高知大学海洋コア総合研究センター)○原田尚美1・坂本竜彦1・内田昌男1・阿波根直一1・池原実1
- 1D20 四組効果から見た、世界の広い海洋域ごとの深度プロファイルの特性
(1電気通信大学・2東京大学大学院理学系(名誉教授))○下田淳二1・増田彰正2

第1日 (9月20日) ポスターセッション(1) 午前/午後

【ポスター会場: 生協第一食堂】

(コアタイム 13:00-14:00 ポスター掲示は9時30分から)

[陸水]

- 1P01 堆積物-環境水におけるウラン系列核種の動態-金丸地域の一例
(産業技術総合研究所地質調査総合センター)○金井豊・上岡晃・関陽児・内藤一樹・渡部芳夫
- 1P02 Gas Bench IIを用いた地下水中の溶存炭酸の炭素同位体測定について
(産業技術総合研究所・深部地質環境研究センター)○高橋浩・廣田明成
- 1P03 都市河川の化学的研究
(1琉球大学 理工学研究科・2琉球大学 理学部)○寺坂梓1・渡久山章2
- 1P04 沖縄島北部河川水の化学的研究
(琉球大学大学院理工学研究科)○崎濱秀明・渡久山章
- 1P05 河口湖における植物プランクトン種組成と水質環境の変化
(東海大 海洋学部)○萩原直樹
- 1P06 河口域及び干潟底質における重金属硫化物の垂直分布
(1東京大学大学院理学系研究科・2東京大学大学院総合文化研究科)○片岡正樹1・松尾基之2
- 1P07 氷期および間氷期における南極海堆積物中のFeの状態分析
(1東京大学大学院総合文化研究科・2国立極地研究所)○小豆川勝見1・松尾基之1・久野章仁1・三浦英樹2
- 1P08 堆積物の地球化学
(広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻)○鄭国
- 1P09 南ウェールズのニース運河における石炭採掘排出液による汚染堆積物のメスバウアー分光法及びXRDによるキャラクタリゼーション
(1広島大学理学研究科地球惑星システム学専攻・2GRC カーテイフ大学・3東京大学大学院総合文化研究科・4John Innes センター)○鄭国東12・久野章仁3・EvansDavid J.4・MahdiTalib Abdulameer2・宮原正明1・松尾基之3・高橋嘉夫1・清水洋1
- 1P10 57Feメスバウアー分光法を用いた西南中国耳海湖堆積物中の黄鉄鉱の同定
(1広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻・2独立行政法人海洋研究開発機構・3東京大学総合文化研究科)○鄭国東1・鈴木勝彦2・高橋嘉夫1・清水洋1・久野章仁3・松尾基之3
- 1P11 多摩川と八坂川河口域堆積物中のRe-Os体系の地球化学的重要性
(1広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻・2独立行政法人海洋研究開発機構・3東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系)○鄭国東1・鈴木勝彦2・久野章仁3・松尾基之3・高野穆一郎3・清水洋1
- 1P12 バイカル湖堆積物中の酸化層マーカーとなる有機物質
(1静岡県立大学・2国立環境研究所)○相馬悠子1・谷幸則1・相馬光之1・杉山千歳1・栗原龍1・橋本伸哉1・高松武次郎2
- 1P13 陸棚型石灰岩と海山型石灰岩における希土類元素存在度パターンの相違: 飛騨石灰質片麻岩と藤原石灰岩を例として
(1名古屋大学理学部・2名古屋大学大学院環境学研究科)洞庭いずみ1・○田中万也2・川邊岩夫2
- 1P14 日本の地球化学図と元素の分布特性の解析
(産業技術総合研究所地質調査総合センター)○今井登・寺島滋・太田充恒・御子柴真澄・立花好子・岡井貴司・金井豊・上岡晃・富樫茂子・松久幸敬
- 1P15 過去3万年間の北西太平洋における古環境変動
(1東北大学大学院 理学研究科・2(独)産業技術総合研究所・3茨城大学教育学部・4北海道大学大学院)○石崎 維1・川幡穂高21・大串健一3・成田尚史4
- 1P16 北九州市平尾台の生物誘導型炭酸塩トウファの堆積環境
(1九大院理・2都立大理)吉村和久1・○高嶋温子1・栗崎孝輔1・岩坂知佳1・浦田健作2
- 1P17 中国黄土高原の黄土-古土壌シーケンスにおけるOs-Nd-Sr同位体組成の時代変動
(1海洋研究開発機構・地球内部研究センター)○2岡山理科大学・3広島大学)○本多将俊1・鈴木勝彦1・鳥居雅之2・清水洋3
- 1P18 最終氷期北西部北太平洋海底メタンハイドレートからのメタン放出について
(1(独)海洋研究開発機構・2(独)国立環境研究所・3茨城大学・4筑波大学)○内田昌男1・柴田康行2・大串健一3・阿波根直一1・干場真弓4
- 1P19 Kitty's Gap 始生代堆積岩中の窒素同位体比組成
(1大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻・2Paris-Sud University)○杉原昭代1・RouchonVirgile2・橋爪光1
- 1P20 (移動)

第1日 (9月20日) ポスターセッション(2) 午前/午後つづき

[堆積物]つづき

1P21 (講演中止)

1P22 古カトマンズ湖学術ボーリングで得られたコア試料の有機バルク分析による中央ヒマラヤの第四紀後期古環境変動

(1九州大学大学院比較社会文化学府・2岡山理科大学・3海洋研究開発機構・4富山大学・5熊本県立大学) ○萬福真美1・山中寿朗1・酒井治孝1・藤井理恵2・牧武志1・内田昌男3・酒井英男4・矢作亘4・堤裕昭5

1P23 富山湾の河口域堆積物における無機態と有機態硫黄の挙動について

(富山大学)○清棲保弘

[生物]

1P24 GODAC映像情報 DBと連携させた複合型 DBの構築—文書情報DBを応用した有孔虫DBの試作など—

(1独立行政法人 海洋研究開発機構・2株式会社マリン・ワーク・ジャパン)○園田朗1・宮城博2・木元克典1・大城美香2・小寺克己2・宮城哲2・仲村亮2・設楽文朗1

[アラユルニウム地球化学]

1P25 ハワイとモーリシャスのマグマ生成に寄与したマントル物質—Pb,Sr,Nd,Hf同位体の切り口

(1熊本大学理学部・2海洋研究開発機構 固体地球統合フロンティア研究システム・3東京大学地震研究所) ○可見智美1・能田成1・羽生毅2・兼岡一郎3

1P26 環境試料を対象としたアラユルニウム分析法の開発 (第二報 土壌及び堆積物の分析)

(1(財)環境科学技術研究所・2東北ニュークリア(株))○高久雄一1・大塚良仁1・林匠馬2・狩野光正2・西村幸一2

[有機物]

1P27 新潟・秋田の天然ガス中のペンタン異性体とヘキサン異性体

(産業技術総合研究所)○猪狩俊一郎

1P28 北海道泥川流域の森林、湿原、湖試料におけるn-アルカンの水素同位体比

(北海道大学)○関幸・中塚武・柴田英昭・河村公隆

1P29 南海トラフ堆積物中のエーテル脂質に関する有機地球化学的研究

(1産総研・日本学術振興会・2産総研・3北大院理地惑) ○大庭雅寛1・坂田将2・角皆潤3

1P30 北海道幌延地域の新第三系珪質泥岩におけるステロイド化合物の続成変化

(北大・院・理)○天羽美紀・鈴木徳行・篠田敏男・福田雅子・RatnayakeN. P.

1P31 クロロフィルの続成変化の化学的解明研究(2)?地層ベンゾボルフィリンにおける6員環の生成時期に関するモデル実験

(筑波大学・化学系)○野中さやか・佐藤充・野本信也・木越英夫

1P32 東シベリアマンモス象臼歯化石のアミノ酸の14C年代とラセミ化反応

(1名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻・2名古屋大学理学部地球惑星科学科・3名古屋大学年代測定総合研究センター)○南雅代1・竹山雅美2・中村俊夫3

[大気降水]

1P33 風送ダスト中の重金属元素が長距離輸送途上に受ける化学反応の解明

(1産業技術総合研究所地質調査総合センター・2産業技術総合研究所 環境管理研究部門・3東京大学大学院理学系研究科・4福岡大学理学部地球圏科学科・5中国科学院大気物理研究所・6高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所)○太田充恒1・金井豊1・寺島滋1・津野宏2・鍵裕之3・吉田哲章3・上岡晃1・今井登1・松久幸敬1・林政彦4・張仁健5・野村昌治6

1P34 2001年-2003年の観測結果から推定される中国東部から日本国内に輸送される風送ダスト量

(1産総研・地質調査総合センター・2広島大学大学院理学研究科・3名古屋大学大学院環境学研究科・4福岡大学理学部地球圏科学科・5中国科学院大気物理研究所)○金井豊1・太田充恒1・上岡晃1・寺島滋1・今井登1・松久幸敬1・金井三千代1・清水洋21・高橋嘉夫21・甲斐憲次3・林政彦4・張仁健5

1P35 静岡市井川における大気中の揮発性有機化合物の動態

(1名古屋大学大学院環境学研究科・2東海大学・3静岡大学)○伊藤絢子1・谷晃2・鈴木款3

1P36 分子レベル14C測定による都市大気エアロゾル中多環芳香族炭化水素の起源推定

(1東京薬科大学・2(独)海洋研究開発機構・3岐阜大学・4(独)国立環境研究所)○佐久間英輔1・内田昌男2・熊田英峰1・近藤美由紀3・小泉博3・藤原祺多夫1・柴田康行4

第1日 (9月20日) ポスターセッション(3) 午後 つづき

[大気降水]つづき

1P37 安定同位体比情報による大気中有機酸類の循環解析法の確立

(1東京工業大学大学院 総合理工学研究科・2東京工業大学フロンティア創造センター・3科学技術振興機構)○黒瀬寛子1・吉田 尚弘123・山田桂大13

1P38 水田から放出されるメタンの炭素・水素同位体比測定

(1東京工業大学 総合理工学研究科・2農業環境技術研究所・3東京工業大学 フロンティア創造共同研究センター・4科学技術振興機構)○尾下里美1・山田桂大14・豊田栄14・木庭啓介14・吉田尚弘143・八木一行2・須藤重人21・西村誠一2・秋山博子2

1P39 西部太平洋上のAPOの緯度分布

(国立環境研究所)○遠嶋康徳・向井人史・野尻幸宏・町田敏暢

[海洋]

1P40 SIMSIによる炭酸カルシウム試料中の微量元素分析

(1東京大学海洋研究所・2東京工業大学理学部)○佐野有司1・白井厚太郎1・高畑直人1・平田岳史2

1P41 20世紀後半のベトナム南部の海水温変動: サンゴ骨格年輪のSr/Ca分析による復元

(1日本学術振興会・2国立環境研究所・3名古屋大学・4名古屋工業大学・5ベトナム国立自然科学技術センター)○三ツ口丈裕12・DangPhong51・北川浩之3・内田哲男4・柴田康行2

1P42 沿岸海域の地球化学図と元素の分布特性

(産業技術総合研究所地質調査総合センター)○今井登・寺島滋・太田充恒・御子柴真澄・立花好子・岡井貴司・池原研

1P43 (講演中止)

1P44 炭素安定同位体比を指標に用いた海洋表層水中の溶存軽炭化水素の挙動と生成過程

(北海道大学大学院理学研究科)○山口潤子・小松大祐・角皆潤・中川書子・笹川基樹・亀山宗彦

1P45 西太平洋表層における鉛の分布と歴史的変動

(1東北大学大学院理学研究科・2産業技術総合研究所)○井上麻夕里1・野原昌人2・鈴木淳2・川幡穂高12

1P46 海洋におけるバリウムの分布

(東海大学海洋学部)○加藤義久・中村智己・副島広道・石井俊

1P47 半閉鎖性海盆におけるバリウムの分布の特徴—アンダマン海, 南シナ海およびスルー海

(東海大学海洋学部)○中村智己・加藤義久

1P48 北太平洋北緯30度WOCE-P02横断観測におけるバリウムの分布

(東海大学海洋学部)○副島広道・中村智己・加藤義久

第2日(9月21日) 口頭発表 午前

【A会場】

[海洋の微量元素・同位体マッピング]

(8:45~10:15)座長:張勁

2A01 亜寒帯北太平洋鉄散布実験SEEDS2001における微量元素の動態

(1京都大学化学研究所・2金沢大学工学部・3東京大学大学院農学生命科学研究科・4電力中央研究所・5東京大学海洋研究所)○宗林由樹1・衣笠正敏1・中塚清次1・岡村慶1・石田恒己2・武田重信3・西岡純4・津田敦5

2A02 南極海オーストラリアセクターにおける生物活性微量元素の分布(2001-2002年)

(京都大学化学研究所)○頼暁東・則末和宏・見方美智・宗林由樹

2A03 親潮域混合層における溶存鉄の供給源について

(1北海道区水産研究所・2電力中央研究所・3東京大学・4北海道大学・5東北区水産研究所)○小笠恒夫1・西岡純2・芳村毅2・小畑元3・久万健志4・齊藤宏明5

2A04 東部太平洋におけるセレンの分布

(1近畿大学大学院・2近畿大学理工学部)○三橋康伸1・藤田昭紀2・住吉綾子2・服部裕史・中口謙2

2A05 太平洋の希土類

(1東京大学海洋研究所・2サンカルロス大学)○本郷やよい1・小畑元1・アリポ ディア ソット2・蒲生俊敬1

休憩15分

(10:30~12:15)座長:蒲生俊敬

2A06 北太平洋におけるネオジム同位体比の三次元的分布
(1東京都立大学・2サン・カルロス大学・3東京大学海洋研究所)○天川裕史1・ディア アリポ2・野崎義行3

2A07 MC-ICP-MSを用いた海水Mg同位体比測定

(1東京大学 海洋研究所・2東京工業大学 地球惑星科学専攻)○国岡大輔1・平田岳史2・竹田裕2・白井厚太郎1・佐野有司1

2A08 太平洋中緯度域におけるTh同位体の鉛直分布

(1東京大学海洋研究所・2放射線医学総合研究所)○大久保綾子1・小畑元1・山田正俊2・蒲生俊敬1

2A09 東部太平洋における海水中の宇宙線生成核種⁷Be、¹⁰Beの分布

(1日本大学大学院総合基礎科学研究科・2国立科学博物館理工学研究所・3東京大学原子力研究総合センター・4日本大学文理学部)○齋藤千春1・山形武靖1・米田成一2・松崎浩之3・永井尚生4

2A10 海底熱水活動域および沿岸域における溶存有機態金属

((財)電力中央研究所)○下島公紀

2A11 沿岸海底湧水の地球化学とその海洋学的意義

(富山大学理学部)○張勁

【B会場】

[大気降水]

(9:00~10:00)座長:角皆 潤

2B01 安定同位体組成から推定した東アジア地域における酸化炭素・メタン・軽炭化水素類の季節変動の原因

(1北海道大学大学院理学研究科・2東京大学海洋研究所・3東京工業大学大学院総合理工学研究所・4独立行政法人国立環境研究所)○中川書子1・角皆 潤1・小松大祐1・西村公男1・蒲生俊敬2・吉田尚弘3・齊藤拓也4・町田敏暢4・遠嶋康徳4

2B02 波照間島における大気中CFCs、HCFCs、HFCs、SF6の高頻度測定

(国立環境研究所)○横内陽子・向井人史

2B03 GC-MSを用いた大気エアロゾル中のバイオマス燃焼起源有機物の分析

(1北海道大学 低温科学研究所・2オレゴン州立大学)○持田陸宏1・黒川文子1・小林実1・河村公隆1・シモネイバート2

2B04 炭素安定同位体指標を用いた大気中塩化メチル収支について

(1北海道大学大学院理学研究科・2国立環境研究所)○小松大祐1・角皆潤1・山口潤子1・中川書子1・横内陽子2・齊藤拓也2

(10:00~11:15)座長:持田陸宏

2B05 微量試料での二酸化炭素中¹⁷O異常の定量法開発と応用

(1北海道大学大学院理学研究科・2東京大学海洋研究所)○川口慎介1・角皆潤1・工藤新吾1・中川書子1・蒲生俊敬2

2B06 黄砂時に大気から湿性沈着した鉱物粒子の粒径特性

(北海道大学大学院)○大木淳之・乗木新一郎

休憩15分

2B07 大気中の⁷Be、¹⁰Be濃度と同位体比の季節変動

(1日本大学大学院総合基礎科学・2日本大学文理学部・3東京大学原子力研究総合センター)○山形武靖1・齊藤敬2・松崎浩之3・永井尚生2

2B08 2001年3月から横浜で観測された大気エアロゾル中の⁷Be、²¹⁰Pbの季節変動について

(中央水研)○皆川昌幸

(11:15~12:15)座長:皆川昌幸

2B09 風送ダスト発生域である中国タリム盆地北部、阿克蘇における大気エアロゾルの特質

(1理化学研究所・2山形大学・3気象研究所・4中国科学院新疆生態与地理研究所)○矢吹貞代1・中村友紀2・三上正男3・金山晋司1・劉明哲4・周宏飛4

2B10 中国寧夏回族自治区沙坡頭で採取したエアロゾルの化学組成とストロンチウム同位体組成

(1山形大学・2理化学研究所・3中国科学院寒区旱区環境与工程研究所)○中村友紀1・松本寿子1・金山晋司2・劉立超3・柳澤文隆1・矢吹貞代2

2B11 2001年の東北地方の「赤い雪」中に含まれる黄砂粒子のSr・Nd同位体組成とその起源

(1理化学研究所・2山形大学・3防災科学技術研究所新庄支所)○金山晋司1・矢吹貞代1・柳沢文孝2・阿部修3

2B12 大気エアロゾル水溶性画分からのOHラジカル光化学的生成速度

(1広島大学大学院生物圏科学研究科・2九州大学大学院農学研究院)○近藤宏壮1・智和正明12・佐久川弘1

第2日 (9月21日) 口頭発表 午前

【C会場】

[岩石/地殻, 鉱床]

(9:00~10:00) 座長: 松本拓也

2C01 流紋岩マグマ中モナズ石の地球化学的晶出条件

(1立正大学・2北海道大学)○福岡孝昭1・伊藤靖浩1・中川光弘2

2C02 ネパール・インド地域の1.5-1.7Ga火成岩の40Ar-39Ar年代とその地球化学的意義

(1関東学園大学・2九州大学大学院比較社会文化研究院・3東京大学地震研究所)○瀧上豊1・酒井治孝2・折橋裕二3

2C03 各種花崗岩に含まれる気体炭素化合物の特徴

(1名古屋大学・2マッカリー大学・3スロバキア地質調査所)○永峰康一郎1・チャペルブルース2・コフォートミラン3

2C04 Origin and evolution of granitoid rocks in the western Ethiopian Precambrian shield: a review

(広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻)○KebedeTefaye・日高洋

(10:00~11:15) 座長: 瀧上 豊

2C05 九州中南部地域における島弧型マグマとプレート内型マグマの混合

(秋田大・工資)○浅川敬公・安井光大・由利努・北逸郎・山元正継

2C06 日本海拡大に関連する第三紀火山岩の鉛、ネオジウム、ストロンチウム同位体の特徴

(1熊本大学理学部・2神戸大学理学部地球惑星科学科)○能田成1・可児智美1・乙藤洋一郎2

休憩15分

2C07 ギリシャ・エーゲ弧に産する火山岩の希ガス同位体比

(1東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設・2アテネ大学)○古谷泰行1・角野浩史1・清水綾1・長尾敬介1・野津憲治1・Mitropoulos Panagiotis2

2C08 西南日本野山岳のゼノリスから見る島弧マントルウェッジのOs同位体組成

(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2金沢大学・理学部・地球HANDLER Monica1・○鈴木勝彦1・阿部なつ江1・荒井章司2

(11:15~12:00) 永峰康一郎

2C09 南米パタゴニア溶岩台地のアルカリ玄武岩とマントル捕獲岩の希ガス同位体比

(1東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設・2東京大学地震研究所・3リオデジャネイロ州立大学・4神奈川県立生命の星・地球博物館・5パタゴニア国立大学)○角野浩史1・折橋裕二2・元木昭寿3・平田大二4・HallerMiguel5・長尾敬介1・

2C10 ロイヒ海山産玄武岩ガラス及びカンラン石の希ガス同位体組成

(1大阪大学・2東京大学地震研究所)○工藤康晴1・松本拓也1・松田准一1・折橋裕二2

2C11 イタリア・フィネロ岩体産のアバタイト脈をもつカンラン岩の希ガス同位体組成

(1大阪大学大学院・2金沢大学理学部・3名古屋大学大学院・4オーストラリア国立大学地球科学研究所・5松江工業高等専門学校)○松本拓也1・森下知晃2・松田准一1・藤岡聡介14・武邊勝道35・山本鋼志3・荒井章司2

【D会場】

[地球外物質]

(9:00~10:00) 座長: 三浦弥生

2D01 Olivine-phyric shergottites (火星隕石) の化学組成の特徴

(東京都立大学)○白井直樹・海老原充

2D02 火星の火成活動の起源

(1産総研地質調査所・2茨城大学理学部地球生命環境科学科・3国立極地研究所)○下田玄1・池田幸雄2・木多紀子1・森下祐一1・今菜直也3

2D03 月表面の宇宙線照射履歴からみたレゴリス形成過程

(1広島大学大学院理学研究科・2国立科学博物館理工学研究部)○日高洋1・米田成一2

2D04 Primitive Xenon(U-Xe)は存在したか

(九州大学)○高岡宣雄

(10:00~11:15) 座長: 日高 洋

2D05 コンドライト隕石のI-Xe年代測定

(1東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設・2九州大学大学院理学研究科地球惑星科学部門)○海老澤紀子1・岡崎隆司12・長尾敬介1・野津憲治1

2D06 CB・CH並びにTagish Lake炭素質コンドライト中の希ガス組成

(東京大学大学院理学系研究科)○大澤崇人・長尾敬介

休憩15分

2D07 太陽風起源希ガスを含むCRコンドライトNWA801の研究

(1スロベニア・生態学工学研究所・2九州大学大学院理学研究科・3東京大学大学院理学系研究科)○Svetina Marta1・中村智樹2・○長尾敬介3

2D08 神岡隕石の希ガス同位体組成

(1東大地震研・2極地研・3東大院理)○三浦弥生1・山口亮2・長尾敬介3

(11:15~12:15) 座長: 長尾敬介

2D09 セマルコナLL3.0コンドライト隕石中のオリビン集合体

(1ロンドン自然史博物館鉱物学専攻・2東京工業大学理工学研究科地球惑星科学専攻)○伊藤正一1・ラッセルサラ1・坂本尚義2

2D10 CHコンドライト中のコンドライトの酸素同位体組成

(東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻)○吉武美和・坂本尚義

2D11 始源的コンドライトにおけるプレソーラー粒子の存在度

(東京工業大学)○永島一秀・坂本尚義

2D12 COコンドライトY81025とALHA77307におけるプレソーラー粒子存在度

(1東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻・2ハワイ大学ハワイ地球・惑星物理研究所)○小林幸雄1・殿谷梓1・永島一秀1・クロットアレクサンダーN.2・坂本尚義1

第2日（9月21日）学会賞等受賞講演

【講演会場：大学会館】

2004年度日本地球化学会学会賞等受賞講演

(15:30～17:30)

- 2S01 奨励賞15:30 海洋による人為起源炭素吸収量の見積もりとその確度
(産業技術総合研究所海洋資源環境研究部) 松本 克美
- 2S02 奨励賞15:50 硫黄および炭素の安定同位体を用いた大量絶滅における環境変動の研究
(大阪市立大学大学院理学研究科) 丸岡 照幸
- 2S03 奨励賞16:10 ウラン系列短寿命核種の精密分析法の開発とマグマプロセス解析への応用
(岡山大学固体地球研究センター・PML) 横山 哲也
- 2S04 学会賞16:30 海洋大気エアロゾルの挙動と組成変動に関する地球化学的研究
(東京大学海洋研究所、科学技術振興機構) 植松 光夫
- 2S05 学会賞17:00 塩溶液ならびに熱水系における軽元素安定同位体分別の実験的研究
(Oak Ridge National Laboratory) 堀田 十輔

第2日 (9月21日) ポスターセッション(1) 午後

【ポスター会場: 生協第一食堂】

(コアタイム 13:00-14:00 ポスター掲示は9時から)

- | [海洋の微量元素・同位体マッピング] | [岩石/地殻, 鉱床] |
|---|---|
| 2P01 広域海底湧水湧出量の測定と沿岸環境への影響評価

(1富山大学理工学研究科・2富山大学理学部・3富山大学理工学研究科・4富山大学理学部・5株式会社 地球科学研究所)○小山裕樹1・張勁2・萩原崇史3・佐竹洋 | 2P13 瀬戸内火山帯に分布するHMAのK-Ar Ar-Ar FT 年代測定

(1独立行政法人 海洋研究開発機構・2京都フィッショントラック)○佐藤佳子1・巽好幸1・檀原徹2・田村肇1 |
| 2P02 沿岸域における海底湧水湧出量測定法の開発と片貝川扇状地沖でのアプローチ

(1富山大学理工学研究科・2日油技研工業株式会社・3地球科学研究所)○萩原崇史1・張勁1・小山裕樹1・中村哲也2・浅井和見3 | 2P14 希土類元素によるシリカの溶解促進メカニズムの解明

(広島大学大学院理学研究科)○村田美穂・高橋嘉夫・清水洋 |
| 2P03 富山湾における河川水・淡水性海底湧水による栄養塩供給及びその影響

(1富山大学・2長崎大学・3近畿大学)○八田真理子1・張勁1・石坂丞二2・三橋康伸3・中口謙3 | 2P15 CZ法によるケイ酸塩ガーネットの合成とCoの拡散係数の測定

(東京大学RI総合センター)森岡正名・○阿部剛 |
| 2P04 西部および中央部北太平洋における ^{239+240Pu} 存在量の時系列変化

(放射線医学総合研究所)○山田正俊・鄭建・青野辰雄 | 2P16 動的光散乱法の開発と結晶成長初期過程への応用

(東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設)○神谷奈津美・角森史昭・鍵裕之 |
| 2P05 サンゴ骨格中の窒素・炭素・酸素同位体組成

(1東京大学海洋研究所・2東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)○内田麻美1・西澤学1・白井厚太郎1・高畑直人1・佐野有司1・飯嶋寛子2・茅根創2 | 2P17 東濃ウラン鉱床周辺堆積岩の主成分元素、微量元素、希土類元素

(慶応義塾大学)○金井孝裕 |
| 2P06 スルー海および周辺海域における微量金属の分布

(京都大学化学研究所)○則末和宏・江副雅子・宗林由樹 | 2P18 JarositeとMikasaiteのメスバウアー分光

(1東邦大学理学部・2東京大学大学院工学研究科)○飯山健史1・酒井均・野村貴美2・高橋正1・竹田満洲雄1 |
| 2P07 西部北太平洋の表層における希土類元素同位体比の分布とその特徴

(東京大学海洋研究所)○田副博文・小畑元・蒲生俊敬 | 2P19 中国Hannoubaカンラン岩ゼノリスのRe-Os鉱物アイソクロン年代:大陸下リソスフェアマンツルの進化

(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2中国科学院・広州地球化学研)○鈴木勝彦1・ZHIXiachen2・阿部恭子1 |
| 2P08 南東部ベーリング海陸棚域における植物プランクトン分布と栄養塩環境 — 円石藻ブルームに関連して

(1富山大学理工学研究科・2東海大学海洋学部・3山形大学理学部・4山形大学理学部)○西谷啓伸1・張勁4・成田尚史2・リチャード ジョルダン3 | 2P20 Os Pb and Nd isotopic geochemistry of Permian Emeishan Continent flood basalts: Insights to source of large igneous province

(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2中国科学院・広州地球化学研)○鈴木勝彦1・XUJifeng2・XUYi-Gang2・XIAOLong 2・MEIHou-jun2・LlJie2 |
| 2P09 北太平洋亜寒帯域における植物プランクトン分布とその海洋環境

(1富山大学理工学研究科・2富山大学理学部・3東海大学海洋学部・4山形大学理学部・5北海道大学水産学部・6東京大学海洋研究所)○有沢桃子1・張勁2・西谷啓伸1・成田尚史3・リチャード ジョルダン4・齋藤誠一5・今井圭理6 | 2P21 新潟県中東地区および金丸地区のウラン濃集帯試料中の微量元素の挙動

(産業技術総合研究所深部地質環境研究センター)○上岡晃1・金井豊・塚本育・渡部芳夫 |
| 2P10 深海冷湧水の地球化学と茂津多岬沖巨大バクテリアマットの生成メカニズム

(1富山大理・2産業技術総合研究所)○佐藤瑠美1・張勁1・山腰裕子1・佐竹洋1・竹内章1・岡村行信2 | 2P22 南インド、ダルワールクラトン周辺部における始生代大陸下リソスフェアマンツルの形成とその進化

(1海洋研究開発機構 地球内部変動研究センター・2京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設)○宮崎隆1・柴田知之2・芳川雅子2 |
| 2P11 北部北太平洋における鉄散布実験時の溶存メタンの挙動-KH04-3次航海の速報

(北海道大学大学院理学研究科)○笹川基樹・亀山宗彦・川口慎介・中川書子・角皆潤 | 2P23 伊豆島弧火山岩中のベリリウム10濃度の決定

(1東京大学地震研究所・2東京大学原子力研究総合センター)○後反克典1・中井俊一1・松崎浩之2 |
| 2P12 溶存気体自動抽出装置 (AMEXs: Automatic Methane and nitrous oxide EXtraction System)を用いた鉄散布に伴う海水中の温室効果気体濃度変化の迅速船上測

(北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻)○亀山宗彦・川口慎介・中川書子・笹川基樹・角皆潤 | 2P24 Evaluation of acid and alkali-fusion digestion techniques for determination of high field strength elements of geological samples by ICP-MS

(1IFREE JAMSTEC・2京大・地球熱学研究施設)○常青1・柴田知之2・篠塚一典1・巽好幸1 |

第2日 (9月21日) ポスターセッション(2) 午後 つづき

[岩石/地殻, 鉱床]つづき

- 2P25 In-situ Li isotopic analyses of clinopyroxene grains:
comparison of SIMS and MC-ICP-MS results
(1ERI The Univ. of Tokyo・2Dept. of Earth & Planetary
Science The Univ. of Tokyo)○KIM Taehoon1・NAKAI
Shun'ichi1・SUGIURA Naoki2・HIYAGON Hajime2・
MIYAZAKI Akiko2
- 2P26 同位体希釈ICP-質量分析法による玄武岩試料中の極
微量白金族元素の定量
(1海洋研究開発機構 地球内部変動研究センター 地
球内部試料データ分析解析プログラム ・2海洋研究開
発機構 地球内部変動研究センター 地球内部物質循
環研究プログラム)○篠塚一典1・鈴木勝彦1・巽好幸2
- 2P27 北九州黒瀬に産する超苦鉄質ゼノリスのSrNdOs同位
体組成
(1名古屋大学大学院理学研究科・2名古屋大学大学院
環境学研究科)○仙田量子1・田中剛2
- 2P28 幌満カンラン岩粉末試料のRe-Os不均質:白金族元素
分析用標準試料作成の試み
(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2北
海道大学 理学研究科 地球惑星物質科学)○阿部恭子
1・鈴木勝彦1・本多将俊1・新井田清信2・巽好幸1
- 2P29 水-鉱物反応における希土類元素の溶脱及び同位体
組成変化
(名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻)
○柴田信之介・田中剛・山本鋼志
- 2P30 タングステン高回収率化学処理の開発
(東京工業大学理工学部地球惑星科学専攻)○入澤啓
太・築田千明・平田岳史
- 2P31 縞状鉄鉱床の地球化学
(1九大院理・2Penn State):○島田雄樹1・本村慶宣1・
岡上吉広1・横山拓史1・大本 洋2

第3日 (9月22日) 口頭発表 午前

【A会場】

[地下生物圏の地球化学]

(9:00~10:40)座長: 和田秀樹

3A01 バイオジオサイエンスと地球化学

(静岡大学理学部)○加藤憲二

3A02 熱水系に存在する地下生物圏- アミノ酸の熱的安定性条件と生命発生の束縛条件 -

(1(独)産業技術総合研究所・2東北大学大学院理学研究科・3大阪市立大学)○川幡穂高^{1,2}・ラングブタ¹・伊藤美穂³・益田晴恵³

3A03 アミノ酸からみた水曜海山海底熱水系地下生物圏

(1横浜国立大学・2産総研・3東京大学)○小林憲正¹・高野淑識²・堀内司¹・金子竹男¹・丸茂克美²・浦辺徹郎³

3A04 沖繩トラフの熱水系における堆積層内の熱水循環と化学反応

(九州大学大学院 理学府 地球惑星化学)○中島美和子・石橋純一郎

3A05 イタリア・マルケ州における硫化水素泉の地球化学的研究

(1大阪市立大学大学院 理学研究科・2Istituto Italiano di Speleologia Frassasi Section・3大阪大学大学院 理学研究科)○丸岡照幸¹・GaldenziSandro²・松田准一³・益田晴恵¹

休憩15分

(10:55~12:35)座長: 北里洋

3A06 イソプレノイド炭化水素から推定される南海トラフ海底堆積物中のメタン菌の活動

(1産総研地質調査総合センター・2北大院理地惑・3九大院比文)○坂田将¹・古宮正利¹・成島いずみ¹・角皆潤²・山中寿朗³

3A07 バイオマーカーのマルチ同位体による深層生物圏へのアプローチ

(岡山大学理学部)○奈良岡浩

3A08 ヨウ素の地球化学的循環に及ぼす微生物の役割

(1学習院大学・2千葉大学・3放医研・4University of Rochester)○村松康行¹・天知誠吾²・吉田聡³・FehnUdo⁴

3A09 黒島海丘におけるメタン由来炭酸塩岩の堆積化学——メタンハイドレートの分解と炭酸塩鉱物の関係について——

(1東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻・2海洋研究開発機構 深海研究部)○武内里香¹・松本良¹・町山栄章²・萩原成騎¹

3A10 冷湧水起源炭酸塩沈殿物および二枚貝の分布と同位体比

(1東京大学・2静岡大学・3横浜国立大学)○加藤和浩¹・和田秀樹²・間嶋隆一³・北崎朋美³

【B会場】

[環境]

(9:00~10:00)座長: 渡久山章

3B01 多重比較法を用いた河川堆積物中の元素挙動の解明

(産業技術総合研究所 地質調査総合センター)○太田充恒・今井登

3B02 全希土類元素に対する腐植物質との錯生成定数の決定に基づく水圏の希土類元素パターンの解析

(広島大学大学院理学研究科)○山本祐平・高橋嘉夫

3B03 草津温泉における溶存ヒ素濃度経年変化

(上智大学理工学部)○木川田喜一・川井智・大井隆夫

3B04 草津温泉周辺の酸性河川水中のヒ素

(上智大学理工学部)○川井智・木川田喜一・大井隆夫

(10:00~11:15)座長: 太田充恒

3B05 十和田湖の湖底堆積物に含まれる金属成分の起源

(1広島大学大学院理学研究科・2東北ニュークリアー・3財団法人 環境科学技術研究所)○小徳美和¹・西村幸一²・大塚良仁³・高久雄一³・日高洋¹

3B06 セブ湾(フィリピン)中西部における堆積物中の重金属の化学形態

(鹿児島大学理学部)○ロージェニファー・坂元隼雄・富安卓滋・穴澤活郎

休憩15分

3B07 南フランス・ローヌ川河口カマルグ地帯に濃集した重鉱物の地球化学的特徴: ジルコンのキャラクタリゼーションによる起源の特定

(広島大学大学院理学研究科)○笹子広晴・日高洋・堀江憲路

3B08 シラスによる亜鉛および銅の吸着

(鹿児島大学理学部)○飯盛啓生・坂元隼雄・富安卓滋・穴澤活郎

(11:15~12:15)座長: 木川田喜一

3B09 Effect of ionic strength on the dissolved silica in the interaction of acidic red soils from Okinawa and seawater solutions

(琉球大学 理学部)○KomboMohamed・与那覇 哲也・VuaiAli・渡久山章

3B10 断層粘土年代測定における最近の進展-ヨーロッパアルプスとオーストラリアの堆積盆地のケーススタディ

(1CSIRO Petroleum Australia・2Department of Earth Sciences ETH-Zentrum Switzerland・3Discipline of Earth Sciences School of Environmental and Life Sciences University of NewcastleAustralia)○ZwingmannHorst¹・MancktelowNeil²・Offler Robin³

3B11 樹木年輪中に記録された¹⁴C濃度変動を利用した高精度年代決定

(1名古屋大学年代測定総合研究センター・2福島大学教育学部・3福岡大学理学部)○中村 俊夫¹・丹生越子¹・木村勝彦²・奥野充³・太田友子¹・小田寛貴¹

3B12 大気中の煤の炭素同位体比の変動II処理法による影響と実試料の変動

(東京農工大学大学院共生科学技術研究部)○品川士門・赤木右

第3日 (9月22日) 口頭発表 午前

【C会場】

[温泉/熱水]

(9:00~10:00)座長:坂元 隼雄

3C01 合成アルナイトにおけるランタノイド元素の相互分別

(上智大学理工学部)○長谷川潤・木川田喜一・大井隆夫

3C02 中温地熱地域へのCO₂固定化の実験的研究

(1三菱マテリアル総合研究所・2地球環境産業技術研究機構・3電力中央研究所)○上田晃1・加藤耕一1・大隅多加志2・矢島達哉2・海江田秀志3・伊藤久敏3

3C03 青森県の温泉化学からみた東北日本の地殻内における硫酸還元作用

(東北大学大学院理学研究科)○谷口敦行・箕浦幸治

3C04 地熱系における金の濃縮と還元-鉱物表面の役割

(九州大学)○横山拓史・米津 幸太郎・岡上吉広・今井亮・渡辺公一郎

(10:00~11:15)座長:上田 晃

3C05 地熱流体試料中のヒ素、アンチモンおよび水銀濃度とその分布

(鹿児島大学理学部)○坂元 隼雄・下西牧子・富安卓滋・穴澤活郎

3C06 鹿児島県・八幡地獄の噴気孔周辺における植物の葉、土壌及び大気中の水銀分布

(鹿児島大学理学部)○小堀晃作・坂元隼雄・富安卓滋・穴澤活郎

休憩15分

3C07 四国地方における温泉ガスのヘリウム同位体比

(1核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター・2サンコーコンサルタント株式会社)○金沢淳1・角田地文2・浅森浩一1・梅田浩司1

3C08 海底熱水環境下でのアミノ酸関連分子の安定性

(1横浜国立大学・2産総研)○栗原広成1・堀内司1・金子竹男1・小林憲正1・高野淑識2・丸茂克美2

【D会場】

[地球外物質]座長:中村 昇 村江達士 小林憲正

(9:00~10:00)座長:中村 昇

3D01 生命誕生への化学進化における地球外複雑有機物の役割

(1横浜国立大学・2産総研・3NTT・4放医研・5宇宙研)○小林憲正1・谷内俊範1・鈴木宣茂1・遠西寿子1・坪井大樹1・金子竹男1・高野淑識2・高橋淳一3・吉田聡4・春山純一5

3D02 有機化合物の化学進化におけるマグマオーシャンの影響

(九州大学理学研究院)○村江達士・太田紫穂・佐藤大樹・大東佳奈

3D03 メリライト中のカリウムの拡散-隕石母天体の熱履歴と大きさの解明

(1アリゾナ大学 地球科学科・2東京大学 アイソトープ総合センター)○伊藤元雄12・ガングリージバミトラ1

3D04 隕石中不溶性有機高分子由来カルボン酸の炭素・水素同位体組成

(岡山大学)○大場康弘・奈良岡浩

(10:00~11:15)座長:村江達士

3D05 コンドリュール形成時における有機分子の酸化反応

(1九州大学理学研究院・2宇宙科学研究本部)○家村育民1・村江達士1・矢守章1

3D06 ハワイ沖深海底堆積物から選別した磁性球粒の化学組成について

(1京大院工・2日大文理・3京大炉・4都立大院理・化学)○関本俊1・小林貴之2・高宮幸一3・柴田誠一3・海老原充4

休憩15分

3D07 始原的エイコンドライトからみた母天体の進化

(1神戸大学理学部・2神戸大学大学院自然科学研究科・3岡山大学理学部)○中村 昇12・大橋佐和子2・貴田恵美2・大西市郎2・岡野修3・森川徳敏2・富岡尚敬1・山下勝行1

3D08 メソシデライトケイ酸塩クラストの微量元素存在度

(1総合研究大学院大学・2国立極地研究所・3東京都立大学大学院)○玉置美奈子1・三澤啓司12・山口亮12・海老原充3

(11:15~12:00)座長:小林憲正

3D09 ユークライト隕石中の白金族元素の起源

(1東京都立大学・2国立極地研究所)○岡本千里1・海老原充1・山口亮2

3D10 加速器質量分析法によるコンドライト隕石中の³⁶Clの分析

(1東京都立大学・2筑波大学・3高エネルギー加速器研究機構)飯尾浩之1・○大浦泰嗣1・海老原充1・笹公和2・末木啓介2・関李紀2・高橋努2・長島泰夫2・松広岳司2・別所光太郎3・松村宏3・三浦太一3

3D11 CHコンドライトAcfer214に含まれる難揮発性包有物のAl-Mg年代測定

(東京工業大学理工学研究科地球惑星科学科)○巻出健太郎・小林幸雄・坂本尚義

第3日 (9月22日) ポスターセッション(1) 午後

【ポスター会場: 生協第一食堂】

(コアタイム 13:00-14:00 ポスター掲示は9時から)

[地下生物圏の地球化学]

- 3P01 二次元オプトードを用いた堆積物-水境界における酸素濃度分布の可視化法について
(1独立行政法人海洋研究開発機構 固体地球統合フロンティア研究システム・2コペンハーゲン大学 海洋生物学研究所)○小栗一将1・北里洋12・グルドロニー2
- 3P02 海底熱水系試料中のホスファターゼ活性と地下生物圏
(1横浜国立大学・2産総研・3筑波大学・4東京大学)○伊藤有希1・枝澤野衣1・師井茂倫1・金子竹男1・高野淑識2・丸茂克美2・内海真生3・浦辺徹郎4・小林憲正1
- 3P03 マリアナトラフにおける海底熱水中のメタン・全炭酸の濃度及び炭素同位体比
(1東京大学海洋研究所・2北海道大学大学院理学研究科・3九州大学大学院理学研究院)○土岐知弘12・角皆潤2・石橋純一郎3・廣田明成2・蒲生俊敬12
- 3P04 西オーストラリア・Pilbara・Dixon Island層黒色チャート中の有機物
(九州大学大学院理学研究院)○北島富美雄・清川昌一
- 3P05 海底熱水噴出孔からの溶存態有機物
(1九州大学理学研究院・2九州大学比較社会文化研究院)○北島富美雄1・山中寿朗2
- 3P06 沖縄トラフ海底熱水中に含まれるメタンの起源
(1北海道大学 理学部・2北海道大学大学院理学研究科・3九州大学大学院理学研究院)○大久保智1・今野祐多1・三枝俊介1・角皆潤2・中川書子2・井尻暁2・小坂紋子2・川口慎介2・石橋純一郎3・中島美和子3
- 3P07 海底熱水噴出孔から湧出する熱水中の溶存有機炭素の地球化学
(1九州大学大学院比較社会文化研究院・2九州大学大学院理学研究院・3筑波大学生命環境科学研究科)○山中寿朗1・北島富美雄2・石橋純一郎2・内海真生3

[温泉/熱水]

- 3P10 X線吸収法によるスズ化合物の平均有機配位子数の決定
(1広島大学大学院理学研究科・2日本食品分析センター)榎原直樹12・高橋嘉夫1
- 3P11 XAFSによる土壌中のクロムのスペシエーション—その有用性と問題点、JSO-2の測定から
(1産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 計測技術研究グループ・2産業技術総合研究所 地質情報研究部門 地球化学研究グループ・3東京大学大学院 理学系研究科 地殻化学実験施設・4高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学研究施設)○津野宏1・太田充恒2・吉田哲章3・鍵裕之3・田尾博明1・今井登2・野村昌治4
- 3P12 有機炭素・無機炭素別放射性同位体比に基づく大気浮遊粉じん中炭素成分の由来の検討
(1東京大学・2国立環境研究所)○平林幹啓1・松尾基之1・柴田健1・村本淳1・吉永淳1・小林 伸治2・田邊潔2・柴田康行2
- 3P13 サンゴ骨格中の微量元素の微小領域分析
(1東京大学海洋研究所・2東京大学地球惑星科学科)○白井厚太郎1・茅根創2・石井輝秋2・佐野有司2
- 3P14 日本海堆積物コアのOs同位体組成変動・氷期-間氷期気候変動の風化フラックスに対する影響
(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2東大・大学院・海洋研・3北大・大学院・地球環境科学研究科)○鈴木勝彦1・DALAITarun K2・南川雅男3・野崎義行2
- 3P15 付加体アンバーによる顕生代海水Os同位体変動の復元
(1海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター・2東大・大学院・工学系研究科)○鈴木勝彦1・加藤泰浩2・藤永公一郎2
- 3P16 南部マリアナ背弧拡大軸海底熱水系の地球化学的特徴
(1九大理・2九大比文・3静岡大理・4筑波大生命環境・5岡山大固体地球セ・6京大化研・7NOAA/PMEL)石橋純一郎1・○山中寿朗2・木村浩之3・内海真生4・宮部俊輔5・岡村慶6・ローケビン7
- 3P17 韓国温泉水の希ガス同位体研究
(1東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設・2大田大学・地球システム工学・3韓国海洋研究所・4梨花女子大学・科学教育科・5韓国原子力研究所)○朴芝鮮1・角野浩史1・長尾敬介1・Jeong Chan-Ho2・HurSoon-Do3・LeeJong-Ik3・KimKyu-Han4・KohYong-Kwon5
- 3P18 沖縄鳩間海丘の熱水ブルーム拡散挙動観測
(1(財)電力中央研究所・2(独)海洋研究開発機構・3(株)セレス)○下島公紀1・許正憲2・山本啓之2・前田義明3・小池祐一3

[環境]

- 3P08 ハロゲン系有機汚染物質の炭素同位体比解析 - Compound-Specific Carbon Isotope Analysis -
(1産業技術総合研究所・2キール大学海洋研究所・3茨城大学大学院理工学研究科・4日本大学生物資源科学科・5東京大学海洋研究所)○堀井勇一13・ゲートベトリック2・岡田誠3・片瀬隆雄4・蒲生俊敬5・山下信義1
- 3P09 溶存有機物水熱加熱実験によるVOC生成過程
(1東京工業大学大学院理工学研究科化学専攻・2東京工業大学大学院理工学研究科広域理学講座)○大塚高弘12・中嶋悟12

第3日 (9月22日) ポスターセッション(2) 午後

【ポスター会場:生協第一食堂】

(コアタイム 13:00-14:00 ポスター掲示は9時から)

[温泉/熱水]つづき

3P19 熱水ブルーム中のメタンと水銀の挙動

(1琉球大理・2(株)セレス・3電中研・4海洋開発機構・5東大海洋研・6九大院理)○平良直人1・野口拓朗1・大森保1・小池祐一2・前田義明2・下島公紀3・山本啓之4・土岐知弘5・石橋純一郎6

3P31 負イオン質量分析計による微量試料の塩素同位体分析

(1独立行政法人海技大学校・2神戸大学大学院自然科学研究科・3神戸大学理学部・4サーモエレクトロニクス株式会社CS本部・5独立行政法人産業技術総合研究所計量標準総合センター)○藤谷達也12・山下勝行3・中村昇3・金沢延行4・沼田雅彦5

3P32 化学進化過程における脂質膜によるアミノ酸の選択的濃縮

(九州大学理学研究院)○中島丈博・河野徹士・村江達士

[地球外物質]

3P20 正反射法による隕石の赤外スペクトル

(広島大学大学院理学研究科)○中本美歩・日高洋

3P33 On-Line Cr還元法を用いた天然水のD/H測定法について

(岡山大学固体地球研究センター)○板井啓明・日下部実

3P21 Laser fluorinationによる隕石の酸素同位体比(17O/16O および 18O/16O) 測定法

(岡山大学固体地球研究センター)○日下部実・丸山誠史

3P34 連続フロー型質量分析法を用いた微小炭酸塩安定同位体比測定法の開発

(1北海道大学・2東京大学)○石村豊穂1・角皆潤1・蒲生俊敬2

3P22 紫外線レーザーアブレーション連続フロー酸素同位体比質量分析法の開発と隕石への適用

(岡山大学固体地球研究センター)○丸山誠史・日下部実

3P23 衝撃時における多環式芳香族炭化水素の挙動とその宇宙化学的応用

(名古屋大院環境)○三村耕一・外山誠司

3P24 希ガス濃縮成分物理的分離の普通コンドライトへの応用

(大阪大学大学院 理学研究科 宇宙地球科学専攻)○沼野あかね・西村智佳子・宮川千絵・松田准一

3P25 始原的エコンドライトDivnoe隕石中のオリビンに認められる微細組織

(1広島大学大学院理学研究科・2神戸大学理学部地球惑星科学科・3Department of Earth and Planetary Sciences Harvard University・4千葉大学理学部地球科学科)○山下恵1・安東淳一1・富岡尚敬2・MichailPetaev 3・金川久一4・日高洋1

3P26 フラレン製造装置の製作と同位体比分析

(1大阪大学大学院理学研究科・2大阪市立大学大学院理学研究科)○松田准一1・大森英裕1・丸岡照幸2

3P27 星間・星周における非磁性シリケート粒子の化学組成と磁場配向条件

(大阪大学大学院理学研究科)○高島遼一・植田千秋

3P28 SHRIMPによる月隕石EET87521のin-situ U-Pb年代分析

(1広島大学大学院理学研究科・2東京大学海洋研究所海洋環境研究センター)○寺田健太郎1・佐野有司2

[その他]

3P29 噴火活動における塩素同位体分別の可能性

(1東大地震研・2国立科学博物館・3海洋開発研究機構)○宮田佳樹1・米田成一2・鈴木勝彦3・中井俊一1

3P30 バイカル湖周辺に残された氷河地形の10Be・26Al表面露出年代

(1弘前大学・2東京大学大学院理学系研究科・3Limnological Institute SB-RAS・4東京大学原子力研究総合センター・5名古屋大学大学院環境学研究科)○堀内一穂1・村澤晃2・OsipovEduard3・松崎浩之4・GrachevMikhail・河合崇欣5